

人吉市中神町大柿町内会(熊本県人吉市)

(構成：町内会役員、老人クラブ会員、子ども会等)

《活動主体の概要》

総人口： 148人
高齢者数： 31.5% (校区高齢化率)
世帯数： 67世帯
産業構造： 水田中心の農村地域
地理的構造： 中山間部の河川沖積地。

活動のきっかけ

人吉市中神町大柿地区は人吉市の最西に位置している地区で、高齢化、過疎化が進んでいる地域である。

高齢者のみの家族や高齢者の一人暮らしの方々が aumentando いるため、その方々が、長年住み慣れた土地で、安心して暮らせるように、誰もが集い、支え合う地域の拠点「地域の縁がわ」を整備し、世代間交流と地域住民による支え合い活動を開始した。

「地域の縁がわ」の活動を開始したことで、地域からの参加者が増え、それまで行ってきた子どもの下校時の見守り活動においても、さらに取組みを進めることができるようになった。

活動方法

地域の子どもたちが安心して下校できるよう、長年にわたって地域住民が交代で子ども達の見守りを実施してきたが、平成25年度に、通学路に見守り活動の待機所を設置し、より安全に見守り活動を実施できるようになった。

また、子どもの下校時の見守り以外にも、公民館内に設置した地域の縁がわ紅取交流サロン」を拠点として、民生委員、老人会、婦人会、子ども会と連携しながら、フリーマーケットや野菜づくり、男性料理教室、木工細工教室等の世代間交流、他自治会とのグランドゴルフ大会など、地域住民の交流活動に積極的に取組みながら、その活動を通じて地域住民同士の見守りにつ

なげている。

工夫点

子どもの下校時の見守り活動については、地域の縁がわの取組とすることで、見守りに参加する地域住民を多く確保できた。

また、待機所を設置することで雨天時や気温が低い日でも、高齢者が子ども達の見守りに参加しやすい環境とすることができた。このような場所があるということ、それ自体が地域の見守り意識の向上につながっている。

見守り以外の活動でも、例えば月1回のフリーマーケットは、ウォーキング等の校区公民館の行事にあわせて実施することで、地域外からも人が集まり、地域の活力向上につながっている。

成果

学校がある日は、地域住民の交代制による継続した見守りを実施している。

野菜づくりや木工教室では、高齢者と子どもがいっしょになって取り組むことができ、世代間交流が図られた。

フリーマーケット等は、地域の高齢者の生きがいづくりにもつながっている。

課題

今後も同様の取組を継続・発展していくためには、後継者となる人材の確保(地域の中で、熱意をもって活動に取り組むリー

ダーの養成)と事業継続に必要な運営費の確保が課題。

また、高齢化が進み、地域の子どもの数の減少が顕著である。

代表者、事業者等の声

地域の縁がわを拠点とした交流活動や子どもや高齢者の見守りを通じて、この地域で最期まで暮らすことができよかったと思うことができる取組みを続けていきたいと考えている。そのため、世代や男女を問わず、地域の誰もが参画することで、活動の継続を図っていきたい。

そういった意味で、世代間交流の場である地域の縁がわの機能は大事にしたい。